

## 建設産業委員会会議録

平成24年10月22日(月)

午前 9時30分 開会

### ○山本半治委員長

おはようございます。ただいまから建設産業委員会を開会します。協議題1、閉会中の調査事項についてを議題とします。県外行政視察につきましては、11月5日月曜日、6日火曜日で実施をし、視察先につきましては、正副委員長で決めさせていただきました。お手元に配布しました行程表のとおり、1日目は千葉県の松戸市、ここは老朽化建築物対策の勉強に行きます。2日目は、群馬県の館林市、これは第3セクターについての勉強を予定しています。行程については、事務局から説明をさせます。

### ○事務局

#### 【行程表に基づき説明】

### ○山本半治委員長

しばらく休憩します。

午前 9時32分 休憩

午前 9時33分 再開

### ○山本半治委員長

再開します。次に視察先の選定理由について、説明させていただきます。1日目の松戸市、これは老朽化建築物対策で、視察に行くわけですが、松戸市は、条例を作って、ここは防災・減災の観点から空家の適正化ということで、平成24年の4月1日から条例を作って対策をしています。今条例が全国いろんなところで作られています、変わったところは、勧告をするわけですが、勧告に従わないときは氏名の公表をするという条例を作っています。今年から条例が施行されているということで、条例を作る間の問題ですとか、条例を施行して6カ月であります、現在の状況を聞けるんじゃないかなと思います。質問事項につきましては、調査票の中にあって、正副委員長で作成させていただきましたので、見ていただきまして、その他にあれば現地で、今日は勉強する時間もありますので、その中で質問をしていただきたいと思います。2日目の群馬県館林市、ここは第3セクターについての視察ですが、館林市は第3セクターで館林市総合卸売市場というのがありました。これが経営が厳しいということで、平成21年に解散をして新たに民間会社を作っているという状況なので、これも参考になるかなという形で、視察をします。それから、出来れば朝早い市場の活気のあるときに行きたいということで、事務局に調べていただいたので、その状況を事務局から説明をお願いします。

### ○事務局

#### 【状況説明】

### ○山本半治委員長

事務局から説明があったように確認を取らせていただいていますので、よろしくお願います。館林市についても、調査票に質問事項を記載させていただきましたので、見ていただいて、他に質問がありましたら、当日していただきますようお願いいたします。みなさん

にお願いをするんですが、視察後にレポートをお願いしたいと思います。視察先1件につき、A4で1枚程度のレポートを、11月16日金曜日の17時までに事務局に提出をお願いします。何かご意見等ありましたらお願いします。

○中川健一委員

質問の内容について、館林市の方についてですが、具体的に聞いた方がいいと思うんですね。具体的には、館林市の方はどういう問題点があったのか、例えば売上とかそういう見込みですね。あと負債がどれくらいであったのか、あと資産の状況とかですね。あとどういう経営体制だったのかとか、例えば職員が何人いるとかですね。

○山本半治委員長

中川委員が得意な分野でまた上手に聞いてもらった方が。これだけの質問を出して、向こうについての段階では資料として出ると思うのですよね。あと説明も当然あると思うので。しばらく休憩します。

午前 9時40分 休憩

午前10時00分 再開

○山本半治委員長

委員会を再開します。視察後の委員会の日程を調整したいと思います。しばらく休憩します。

午前10時02分 休憩

午前10時10分 再開

○山本半治委員長

委員会を再開します。視察後の委員会は11月27日火曜日、全員協議会終了後に行いますが、前もって資料は19日月曜日までに揃えさせていただきますので、メールまたはペーパーの方はそれぞれ事務局に申し出てください。よろしくをお願いします。しばらく休憩します。

午前10時11分 休憩

午前10時13分 再開

○山本半治委員長

半田市の老朽化建築物対策の現状と課題について当局から説明をお願いします。

○小暮岳志建築課長

【資料に基づき説明】

○山本半治委員長

ありがとうございました。今の説明の中でご質疑等ありましたらお願いします。

○新美保博委員

要は、流れってものをどこかに記載しておいてほしい。半田市の場合、情報をどこが受ける。老朽化だとかいろいろあると思うけど。昭和56年以前の建物の情報とか、それは自分で建てた人はわかっていると思うけど、耐震調査をしなきゃいかん。建てた人はわかっているかもしれないけど、そういった情報の流れ。例えば、壊れそうな家があるよという情報は誰かから話があった時に、どこが対応するのか。昭和56年以前の建物は相談に来ると思うから、建築課が対応するよと。倒壊しそうだという相談は、どこが窓口になるのかと。受けた窓口はどこへ対応をお願いするかと言ったら、やはり建築課になると思うか

ら、建築課が何ができるかという、個人のものだから何もできませんよというのが、たぶん答えだろうと。その流れってというのは、できていないのかなど。主だったケースというのは、昭和56年以前の、耐震化のための施策と、老朽化だとか空き家。老朽化はしていないものの空き家の対策。どこが情報を受けて、どういう処理をするかということは、少し資料として欲しいなと思ったのが1つ。それと、これは前から言われていると思うんだけど、昭和56年5月以前の建物は半田市は全部で何戸あるの。全戸数の中で、耐震調査したのはいくつ、していないのはいくつ、今の状況はどうなんだということは、持っていないと、視察に行った時に相手に、じゃあ半田市さんはどうなんですかと言われたときに、うちは昭和56年以前は全部調査していますよと言えるのか、数%しかやっていないという話になるのか、この数字も資料として持つておかないとまずいかなと思っている。またとの別で、何をもって、古いのか、倒れそうなのかわからないけども、昨日テレビでやっていた50センチも傾いた家のことがあったけど、何を老朽化というのか、それぞれ判断が違うから難しいんだけど、手を入れなきゃいけないものは半田市の中であるのかなど。数字として把握していないから、今から把握するという方向があるのと、それは行政の知らないところだとなるのか、ここの方向性もちょっと参考として資料として欲しいんだけど、どうだろうか。

○山本半治委員長

耐震の関係は、この間いただきましたね。耐震診断受けなきゃいけないところが、九万四千いくつあったじゃないですか。しばらく休憩します。

午前10時22分 休憩  
午前10時41分 再開

○山本半治委員長

委員会を再開します。他にご質疑ございませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

ないようですので、協議題2、その他を議題とします。何かありましたらお願いします。

【「なし」と呼ぶ者あり】

ないようですので、これで委員会を閉会します。

午前10時43分 閉会